

無料低額宿泊事業の届出認められず

浪速区なにわくの施設しせつを居住地きょじゅうちとした生活保護せいかつほご決定けつていは行わおこないー大阪市おおさかし

「施設」は認められないが、現入居者への対応は変わらず

情報を確認して、最良の選択をすることが大切

3月26日、大阪市が、報道機関に対して、

「浪速区にある無料低額宿泊事業の届出があった施設について、市民から劣悪な居住環境であるとの情報提供があり、事実確認のため事業者立会いのもと、当該施設に立ち入り調査を行い、その結果、利用者の生活向上への支援など無料低額宿泊事業の趣旨に合致しない不適切な施設であると判断し、今後、当該施設を居住地とした生活保護決定は行わない旨、事業者に対して通告しました。」と発表しました。

その施設は、「以前パソコン量販店であった8階建建物を第2種社会福祉事業の無料低額宿泊施設として使用するため、昨年12月末に賃借して、コンパネ等で間仕切りをすることで40室以上の居室スペース(約7.5㎡)を造ったものだそうです。

普通、1坪は、約3.3㎡、畳2畳分といわれますから、約7.5㎡は、4畳半の広さということとなります。

一部屋4畳半のアパートはさらにありそうですが、コンパネの間仕切りで防音効果もなく、しかも、床から天井まで届いていない低い間仕切りであることから、「利用者のプライバシーが確保されていないなど、不適切な住環境である」と認定されたものです。

トイレも3階と8階の2カ所だけ。

「家賃は、単身者の生活保護での住宅扶助上限の月4万2000円で、さらに光熱水費精算の預かり金として月1万円を徴収して実費で精算。4月から施設内で夕食を月2万5500円で提供予定だった」と報道されています。

施設は、今年2月から無届け状態で運営を開始。す

▲入居している生保受給者(34名)に対して、他への「転居指導」がなされる施設(浪速区日本橋)



▲入居している生保受給者(34名)に対して、他への「転居指導」がなされる施設(浪速区日本橋)

でに、20〜60代の34人が入居し、生活保護を受給しているということなのです。

大阪市は、今後その施設での生活保護申請は認めないといっています。現に入居し、生活保護受給している人については、困窮の事実が変わらない限り、保護が打ち切られることはないようです。しかし、一日も早く、「不適切な住環境」から「適切な住環境」へと転居するよう勧めるといっています。

入居して生活保護申請した人たちは、野宿しているときに、声を掛けられた人ばかりだといっています。多分、生活保護の仕組み、手続きをよく知らない人たちだったのだらうと思います。

困ってはいけるけれど、自分でどう手続きして良いか判らない。それで、「すべて任せなさい。役所の手続きもできるよ」にするから・・・という言葉に、乗らざるを得なかったのだと思われます。転居を勧められても、どうして良いか判らず、又野宿に戻る人もいるのではないかと心配されます。転居手続きなど丁寧に伝えられているのでしょうか？

他人任せは、禁物です。生活保護の手続きをよく知り、住む場所も自分で探す努力が大切です。そのために、「手引き書」を配布しています。一声、声を掛けてください。

生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも（永住権を持つ外国人を含む）活用することが出来ます。

65歳以上でなければ、あるいは病気でなければ受けられない、というのはウソです。

大阪市立更生相談所（市更相）は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を渡ったところにある建物です。

医療センター（大阪社会医療センター）は、「ある時払いの催促無し」、借用書で受診できる医療機関です。市更相あるいは西成労働福祉センターで診療依頼券をもらってから行く必要があります。

医療センターは、センターの建物外の東側に入り口があります。

「自助努力援助のための手引き書—生活保護は怖くない」（無料）をまだ受け取っていない人は、声を掛けてください。手引き書を読んだ後は、役所で保護申請、不動産屋へ。

20歳から50歳代前半くらいまでの人は、自立支援センターを活用する道もあります。寝場所・食事を提供し、就職活動を支援する施設です。入所希望者は、大阪市立更生相談所（市更相）で相談を。

不動産屋さん紹介（気軽に相談を。しかし、真剣に）

※ 双葉商事さん（電話~~06・6561・4392~~）

鶴見橋商店街の奥（西の端）。敷金不要の今すぐ入れる物件もあります。勿論、風呂付き敷金要の物件も。とりあえず電話で時間を決めて、その後の段取りを決めましょう。

※ フラップさん（電話~~06・6658・8888~~）

26号線花園交差点、イズミヤの南6〜7メートル。西成区以外の物件もあります。

必ず、実物（部屋）を2〜3見て比較、周囲の環境を考えて、得心して決めましょう。